

先生方にも働きかけてほしい。アフタースクールゼミは、後3年は大丈夫と言われたが、これからも継続してほしい。

→現状は3年間ということであるが、議員として後押しして行きたい。人間創造コースも期待されている。

11/17

## 加西市商店連合会



○富良野で開催された「全国商人（あきんど）サミット」に参加し、日南市の活性化事業に刺激を受けた。加西市の活性化策は、

→産業振興課で商工会議所への補助、共通商品券の支援や空き店舗活用、オフィス設置や新規雇用促進などへの補助を行っている。

○北条地区は別にしても、北部地区では少子化で十数年後には若者がいなくなると思う。周辺地区の過疎対策が必要では。

→インターチェンジ周辺で開発が計画されている。また消防署加西北出張所近くに泉地区「認定こども園」が予定されており、働く場や子育て支援の核になっていくことを期待している。

→若者定住促進事業などの予算規模も増加している。北条地区だけでなく地域ごとの住宅用地も検討されている。農業を中心とした就業確保など人口減少をとどめていくことも必要。

○新しく住宅ができる一方で、旧来の集落や住宅地で空き家がふえている。補助金も出しているが家ばかりで人がいない。工業団地の誘致も免除制度

があり、メリットがない。

→賃貸住宅建設の優遇制度については、議会でも反対の声もあった。企業誘致については、一定期間の優遇措置があっても、いずれ固定資産税として市に入ってくる。

○店舗販売から通販やネット販売が主流になり、商店や商店街が疲弊している。まちの魅力は元気な商店街からといわれる。行政からの支援も議会としてお願いしてほしい。



→進出企業への支援策に比べ、地域でがんばってこられた事業者への支援は十分と思えない。議会もしっかり取り組みたい。

○産業振興の会議に参加する機会があったが、一般の人にわかりやすい資料になっていない。加西市はこんな町、こんなプロジェクトといったことや支援策など伝わっていない。若者を育てる空気になっていない。事業者は補助金をあてにしているだけでなく、それ以上によりおおきな還元、貢献を考えている。広域の中での加西を考えたい。



→事業者の皆さんは、同業者と広く接することで情報量も豊富。ぜひ、組織としての要望を具体的に議会にも挙げてほしい。

○加西市としての5年後、10年後のビジョンが必要。チェーン店化が進む中、加西の飲食店には個性がある。補助があるとか安いではなく、お金を出す価値、住む価値、加西しかない魅力をつくりたい。

